

Dreams come true

進路だより



札幌市立元町中学校
NO.41
令和8年(2026年)
10月16日発行

「推薦」で出願するためには

推薦入学者選抜制度について

推薦制度は、大きく『学校長推薦』と『自己推薦』に分かれています。

『学校長推薦』は、志望する学校がどんな教科や活動に力を入れて取り組んでいるかをよく理解し、その取り組みに対して意欲的な生徒の入学の機会を拡大しようとする趣旨で実施されています。元町中学校の推薦基準を満たし、**中学校長の推薦を受けて受験する制度**です。一部の私立高校等で行われています。

『自己推薦』は、志望する学校のスクールポリシー（入学者の受入れに関する方針）や校風をよく理解し、その取組に対して意欲的な生徒の入学の機会を拡大しようという趣旨で実施されています。

自分で自分を推薦する制度です。北海道の公立高校や高専、一部の私立高校で行われています。

1. 学校長推薦で受験する場合

- ・**中学校長の推薦が必要です。**（中学校の推薦基準を満たしている生徒であること。）
- ・各学校によって基準が違いますが、募集要項に記載されている成績の基準を満たしていることが必要です。
- ・部活動に関わる推薦については、**志望する学校の部活動顧問と中学校の間で事前の相談が必要です。**
[全道・全国レベルの選手に対して、上級学校から中学校へ打診されます。]
- ・選抜は基本的に書類審査と面接によって行われますが、入学後の学級編制の資料とするために、学科試験や作文などを行う学校もあります。
- ・また、その学校の独自の特待生を希望し奨学金等を得る場合、一般入学試験の日もテストを受けなければならない学校もあります。

①学校長推薦を考えている場合は、本人と保護者から、直接担任の先生に申し出ます。

申し出の締切日は、11月6日(金)です。

②担任の先生と相談後、学校長推薦を希望することに決めたら、推薦依頼書を受け取り、期限までに作成・提出してください。

③まず、校内推薦委員会で審議が行われます。推薦候補者になったら、校長先生が直接、推薦候補者と面接し、元町中学校の推薦生徒を決定します。

※一部の私立高校では学校長推薦が実施されていますが、推薦制度がない高校もあります。

※私立高校の学校長推薦では、ほとんどの場合、他の高校（公立・私立）に出願できなくなります。

2. 自己推薦で受験する場合

- ①公立高校では、各高校のスクールポリシー（入学者の受入れに関する方針）を確認、また、私立高校や高等専門学校では、各学校の募集要項を確認してください。

※北海道の公立高校で、自己推薦選抜を実施する高等学校では「スクールポリシー（入学者の受入れに関する方針）」を公表しています。各高校、北海道教育委員会、札幌市教育委員会のホームページで公表されています。

※自己推薦制度がない公立高校もあります。

- ②出願を決めたら、できるだけ早い時期に、出願の意思を担任の先生に伝えてください。

申し出の締切日は、11月13日（金）です。

- ③自己推薦書の練習用紙を使って、自己推薦書の内容を考えます。記入した練習用紙を担任の先生や学年の先生に確認してもらい、必要であれば手直しをして担任の先生に提出します。

- ④本物の自己推薦書に清書します。公立高校の場合は、3学期始業式までに提出になります。私立高校や高等専門学校の場合は、2学期終業式までに書き上げ、提出します。

- ⑤面接の他に、筆記試験や英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技や作文などを実施する学校があります。

- ⑥公立高校の場合は、自己推薦で出願した場合、出願変更はできません。また、受検後に気が変わって入学確約書を提出しなかった場合、再出願（他の公立高校を受検すること）はできません。

※自己推薦も学校長推薦も、第1希望の学校に出願するものです。合格内定者が入学辞退をすることは、基本的にありません。推薦の趣旨を理解し、家族とよく相談の上、出願するようにしてください。

学校長推薦可能な生徒とは

学校長推薦出願は、希望すれば誰でも可能というものではありません。校長先生の推薦を受けて初めて出願が可能となります。校長先生の推薦を受けて受験に臨むわけですから、それだけの人物的評価と、心構えが必要です。

「優れた人物である」と上級学校へ推薦するためには、中学校での何らかの実績が必要となります。中学校での活動実績をもとに「中学校では〇〇において努力し成果をあげていますので、高校でも〇〇のような活躍が期待できます。」「将来希望している〇〇のために、高校で〇〇の力を伸ばすことに努力を惜しまない生徒です。」というような推薦書を送ります。

何事にも真面目に取り組み、学校生活において意欲的な活動が見られる生徒がふさわしいです。

さらに重要なことは「その学校でなければ出来ない何か」があり、その学校を熱望しているということです。その学校でしか出来ない何かがあるから推薦を希望するのです。ですから、第2希望以下が推薦希望であったり、複数校の推薦希望があるのは、推薦の趣旨からははずれていることなのです。

また、学校長推薦を受けたからといって、必ず合格するわけではないことも、理解しておいてください。

『推薦』を得るに足る実績があるかとともに、不合格だった場合に前向きに次の試験に取り組めるかも、考えなければならぬ重要なポイントと言えます。

★【推薦選抜】については、進路のしおりP41～43に載っていますので、よく読み、制度について理解した上で希望してください。P42には【中学校長の推薦】を得るにあたっての心構え等についても書いてあります。

《札幌龍谷学園高等学校》入試が 1 月 1 日 & 入試個別相談会

日時 11月14日(土) 9:30～13:00

場所 札幌龍谷学園高等学校（中央区北4条西19丁目1-2）

対象 中学生、保護者 ※定員があります。先着順です。

内容 詳しくは全員に配布したリーフレット参照

申込 ホームページ〔<https://sapporo-ryukoku.ac.jp>〕から、各自で**事前申込〔11月1日（日）から**が必要となります。